



「TOKYO X」を開発、育成する伊藤さん

東京で生まれたブランド豚「TOKYO X」がアパ地下（百貨店地下食料品売り場）などで人気を呼ぶ。「東京でしか買つことができない」この豚肉。味や品質にこだわるため生産量が限られ、希少性が高いのも特徴だ。

TOKYO Xの生まれ故郷は東京西北部の青梅だ。「ここで生まれた子豚が、生産農家に手渡されて親豚として大事に育てられるのです」。東京都農林水産振興財團青梅畜産センター（旧東京都畜産試験場）で、TOKYO Xの開発から携わり、今も手塩にかけて育成にあたる主任の伊藤米人（60）がいう。

東京で生まれた「TOKYO X」がアパ地下（百貨店地下食料品売り場）などで人気を呼ぶ。「東京でしか買つことができない」この豚肉。味や品質にこだわるため生産量が限られ、希少性が高いのも特徴だ。

TOKYO Xの生まれ故郷は東京西北部の青梅だ。「ここで生まれた子豚が、生産農家に手渡されて親豚として大事に育てられるのです」。東京都農林水産振興財團青梅畜産センター（旧東京都畜産試験場）で、TOKYO Xの開発から携わり、今も手塩にかけて育成にあたる主任の伊藤米人（60）がいう。

い。昨年十一月には甘利明経済産業相が閣僚として同国を初訪問。資源外過去、進出ゼロの日本企

り、一躍有名になつたボ

ー挑戦

トキオ

トキオ